奈良県広域水道企業団基準仕様

公開用

奈良県広域水道企業団基準として、水道管の仕様を下記の通りとする。

口径	管種
φ50	**水道配水用ポリエチレン管（HPPE）**
φ75～150	**水道配水用ポリエチレン管　又は　GX形ダクタイル鋳鉄管**
φ200～φ400	**GX形ダクタイル鋳鉄管**
φ450～φ1000	**NS形ダクタイル鋳鉄管　又は　溶接鋼管**
φ1100～	**S形ダクタイル鋳鉄管　又は　溶接鋼管**

ダクタイル鋳鉄管　：・φ75～φ400 のGXについてはS種、φ450 のNSについては3種とする。
・内面エポキシ樹脂粉体、外面合成樹脂塗料とする。
・地中埋設する場合は、ポリエチレンスリーブにより管被覆保護を実施する。

水道配水用ポリエチレン管　：・融着継手とし、砂基礎を実施すること。原則360度巻、厚み10cm以上とする。なお、再生砂は使用しないこと。
・ロケーティングワイヤー設置を標準とする。（※砂の厚みは各事務所へご確認ください。）

共通事項　：・弁は耐震型継手のソフトシール仕切弁とする。口径が大きい場合は別途協議。
・管明示シートを設置する。幅 15cmのダブルとする。
・管明示テープを設置すること。φ75～φ350 は胴巻のみ、φ400 以上は胴巻と天端テープとする。
・埋設管路のフランジ接合部は、ステンレスボルトおよび GF 型ガスケットを標準とする。
・GXとHPPEの異種管接合の場合は、GX挿し口とHPPE挿し口が一体となっているものを使用すること。
・フランジ継手部に離脱防止の補強金具（3DkN 以上）を取付けること。補修弁や排水弁の場合は、流入側（1次側）のみとする。
HPPE布設の際は、フランジ部がダクタイル規格になっているものでないと取付けできないので留意すること。

・不断水割 T 字管　：・分岐元の管が耐震管の場合は、製品全体で分岐方向に離脱防止性能（3DkN 以上）を有するもので挿し口付き
となっている仕様とし、口径φ100以下においてはステンレスコアを取付けること。
・本管接合部はステンレスボルトを標準とする。
・分岐元の管が非耐震管の場合は、附属弁とは別に弁設置を基本とする。